

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年9月7日 (2017.9.7)

【公表番号】特表2011-519927(P2011-519927A)

【公表日】平成23年7月14日 (2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2011-508505(P2011-508505)

【国際特許分類】

C 0 7 C 59/125 (2006.01)

C 0 7 C 51/43 (2006.01)

C 0 7 C 51/347 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 59/125 C S P E

C 0 7 C 51/43

C 0 7 C 51/347

A 6 1 K 31/19

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 43/00 1 1 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年7月27日 (2017.7.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乾燥した固体であり、結晶の形態である、トレプロスチニルの一水和物。

【請求項 2】

少なくとも 90 重量 % の純度で存在する、請求項 1 に記載のトレプロスチニル一水和物。

【請求項 3】

a. 有機溶媒 / 水の組み合わせからトレプロスチニルを再結晶化し、濾過によって固体を集めること；

b. それ以上溶媒が蒸発しなくなるまで 15 から 35 までの温度で固体を風乾すること、

を含み、有機溶媒がエタノールであり、有機溶媒 / 水の比が 1 : 1 である、トレプロスチニル一水和物の製造方法。

【請求項 4】

風乾の温度が 20 から 30 までである、請求項 3 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

[0024] 一態様では、トレプロスチニル一水和物の製造方法が提供され、該方法は以下のことを含む：

a. 有機溶媒 / 水の組み合わせからトレプロスチニルを再結晶化し、濾過によって固体を集めること；および

b. それ以上溶媒が蒸発しなくなるまで周囲温度で固体を風乾すること。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

I. 調製：

[0040] T R E P R O S T I N I L はエタノールの 50 % 水溶液から再結晶化された。“ウェット”な固体は濾過によって集め、それ以上溶媒が蒸発しなくなるまで周囲温度で風乾した。一水和物はこの乾燥プロセスの成果であった。

II. 25 における T R E P R O S T I N I L の無水物型対一水和物型の安定性

1. 無水物 lot # 01A07002 に関する安定性レポート (6 ヶ月)

[0041] 無水トレプロスチニルは以下の手順に従って調製された。